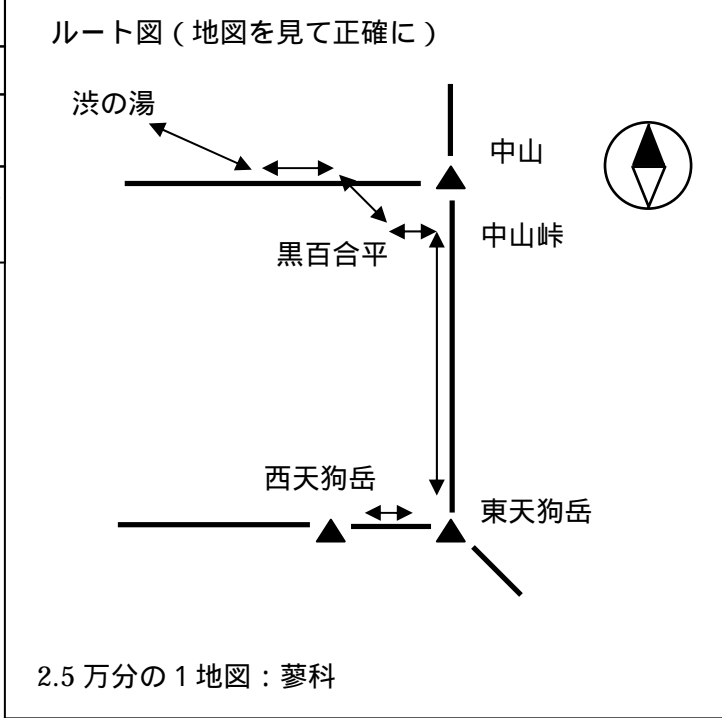


12月度個人山行報告書			報告者	大矢康裕	参加メンバー	CL:大矢
			報告日	1/12		
山域	八ヶ岳	山行日	04年12月28日(水)~			
山名	天狗岳		04年12月29日(木)			

山行目的	冬山トレーニング	コースタイム(天候:天気図記号)
------	----------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者



12/28 晴
13:40 自宅発
17:20 渋の湯

12/29 雪
6:30 起床
7:05 渋の湯発
8:00 尾根
8:05 尾根より5分
8:15
8:25 唐沢温泉分岐
9:10 黒百合平
9:30
10:30 東天狗岳
10:40
10:50 西天狗岳
10:55
11:10 東天狗岳
12:00 黒百合平

13:30 渋の湯着
19:00 自宅着

山行報告 前日の午後から有休を取り、名古屋の自宅発。渋の湯へのR191も全く雪がなく、順調に17時20分頃、渋の湯温泉に到着。登山道を5分ほど登ってみたが、ほんの少し雪がついている程度で、ラッセルは不要と見た。今夜は星空がきれい。12/29 合宿メンバーと安全登山を確認し合い、私は先に天狗岳を目指して出発。日本の南海上に低気圧が通過するため、今日は雪がちらつく天気だ。さしたるラッセルもなく、夏タイムと変わらず、2ピッチで黒百合ヒュッテに到着。気温は、-8。風もなく冬山にしては寒くない。稜線にでてから着けるのも面倒くさいので、ここでアイゼンを装着する。5分ほどで中山峠、稜線を登っていくと、東天狗・西天狗が現れる。次第に東天狗岳に近づくに従って、独特の山容に圧倒される。一部鎖場があるが、アイゼン・ピッケルで慎重に通過すれば、鎖に頼らずとも登れる。今回は特に凍結していないので、アイゼンはなくても登れると思ったが、単独行動なので慎重を期した。頂上直下の急登を詰めると、ほどなく東天狗のピークに到着。まだ、雪も小降りで見界もあるので、ここから空荷で三角点のある西天狗岳を目指す。西天狗は主稜線からはずれており、訪れる人も

人も少ないためか、トレースが全くなく、バージンスノーを踏みしめ、遂に西天狗のピークに到着。帰りは、天狗岳-中山峠間で合宿メンバーと出会う。また、黒百合平では、合宿メンバーの留守部隊から焼酎、キムチ、ミカンの差し入れを頂き、疲れた身体が癒された。(ありがとうございました)黒百合平から1ピッチで渋の湯に下ると、山に登っている6時間の間に車の屋根に15cmも雪が積もっていた。温泉で温まり疲れをほぐして、帰途に着く。

リーダー所見 雪は少なかったが、しっかりと読図もできて、冬山を満喫できた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

帰りの雪道の下りでスリップした。慌ててチェーンを装着し、事なきをえる。

確認(リーダー)
大矢 康裕
04/12/31

作成(報告者)
大矢 康裕
04/12/31